

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 朝日工業株式会社

コード番号 5456 URL <http://www.asahi-kg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤松 清茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 中村 紀之

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 03-3987-2161
平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,637	3.8	△419	—	△410	—	△271	—
23年3月期第2四半期	19,873	1.4	△544	—	△558	—	△577	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △342百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △728百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△3,879.46	—
23年3月期第2四半期	△8,244.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	39,696	18,157	45.7	259,396.56
23年3月期	40,733	18,780	46.1	268,285.76

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 18,157百万円 23年3月期 18,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3,000.00	—	4,000.00	7,000.00
24年3月期	—	3,000.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	7,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,200	11.5	900	—	900	—	500	—	7,142.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 通期の連結業績予想に関する事項については、本日(平成23年11月7日)公表の「平成24年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	72,000 株	23年3月期	72,000 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	2,000 株	23年3月期	2,000 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	70,000 株	23年3月期2Q	70,000 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績等が異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、回復の基調は見られたものの、その速度は緩やかでありました。当社グループでは、更なる事業規模の拡大を目指し、当社グループの強みや特徴を活かした営業展開や積極的なコストダウン活動に努めてまいりました。

このような状況の中、土木建設需要の回復が緩やかであったことが当第2四半期連結累計期間の業績に影響を与えました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は20,637百万円(前年同期比3.8%増)、営業損失は419百万円(前年同期は営業損失544百万円)、経常損失は410百万円(前年同期は経常損失558百万円)、四半期純損失は271百万円(前年同期は四半期純損失577百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①鉄鋼建設資材事業

第2期コストダウンプロジェクトをスタートし、節電など省エネルギーを中心とした製造コストの引き下げ効果は現れ始めましたが、鋼材の販売は、鉄スクラップ価格に見合った製品価格の値上げ交渉を進める中、当初の計画通りの製品価格値上げまでには至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は14,123百万円(前年同期比7.7%増)、セグメント損失は178百万円(前年同期はセグメント損失182百万円)となりました。

②農業資材事業

肥料事業では、東日本大震災による耕作面積の減少の影響はありましたが、関西地区を中心に当社の強みである有機肥料の販売数量が拡大しました。しかし、原料販売が減少したため、前年同期に比べ減収となりました。

園芸事業では、有機肥料の販売が堅調に推移しました。

種苗事業では、第2四半期にスイートコーン「味来」の早期出荷があり、前年同期に比べ増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は5,379百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益は318百万円(前年同期比31.7%増)となりました。

③環境ソリューション事業

官公庁案件は減少しましたが、東日本大震災後に、放射能分析、海洋環境モニタリング調査、塩害等の土壌調査の受注が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は381百万円(前年同期比13.9%増)、セグメント利益は19百万円(前年同期はセグメント損失96百万円)となりました。

④碎石砕砂・マテリアルリサイクル事業

埼玉・群馬地区での公共事業の減少により、前年同期に比べ減収となりましたが、電力を中心に省エネ活動を進め製造コストの低減を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は830百万円(前年同期比4.0%減)、セグメント利益は20百万円(前年同期比57.1%増)となりました。

⑤その他

報告セグメント以外の事業業績は、売上高は225百万円(前年同期比6.9%減)、セグメント利益は3百万円(前年同期比42.7%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、上記各セグメント別売上高の合計からセグメント間の内部売上高302百万円を差引き、20,637百万円となり、セグメント損益は、上記各セグメント別利益・損失の合計からセグメント間の取引消去額、および管理部門経費など各事業に帰属しない全社費用の合計603百万円を差引き、セグメント損失419百万円となりました。また、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間に報告セグメントの変更をしております。前年同期との比較に関する事項につきましては、変更後のセグメントに組替えた金額と比較しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は16,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ909百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、営業活動に伴う現金及び預金456百万円、商品及び製品301百万円の増加と受取手形及び売掛金733百万円、未収入金(その他)1,103百万円の減少等であります。

固定資産は、23,601百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、繰延税金資産(投資その他の資産)246百万円の増加と有形固定資産194百万円、無形固定資産95百万円、投資有価証券(投資その他の資産)135百万円の減少等であります。

この結果、資産合計は39,696百万円(前連結会計年度末比1,037百万円減)となりました。

流動負債は、15,699百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、短期借入金の増加1,455百万円と支払手形及び買掛金309百万円、設備関係未払金(その他)1,345百万円の減少等であります。

固定負債は、5,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、長期借入金80百万円、長期未払金(その他)130百万円の減少等であります。

この結果、負債合計は21,538百万円(前連結会計年度末比414百万円減)となりました。

純資産合計は18,157百万円となり、前連結会計年度末に比べ622百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、利益剰余金551百万円、その他有価証券評価差額金81百万円の減少等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末46.1%から45.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ456百万円増加(前年同四半期は1,898百万円の資金減少)の2,614百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、641百万円(前年同期比46.6%減)となりました。これは、減価償却費1,106百万円、売上債権の減少733百万円、仕入債務の減少309百万円となったことと、税金等調整前四半期純損失465百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,242百万円(前年同期比32.6%減)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2,175百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、2,056百万円(前年同期比796.5%増)となりました。これは、短期借入金の純増加額が1,455百万円、セールアンド割賦バック取引による収入が1,000百万円となったことと、配当金の支払279百万円を実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成23年11月7日公表の「平成24年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,158,466	2,614,500
受取手形及び売掛金	5,998,600	5,265,464
商品及び製品	5,155,599	5,457,164
原材料及び貯蔵品	1,774,111	1,894,090
その他	1,923,144	868,457
貸倒引当金	△5,171	△4,423
流動資産合計	17,004,751	16,095,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,058,466	4,015,248
機械装置及び運搬具(純額)	13,152,370	12,775,950
土地	2,608,137	2,614,550
その他(純額)	1,164,374	1,383,413
有形固定資産合計	20,983,349	20,789,162
無形固定資産	943,512	848,259
投資その他の資産	1,801,883	1,963,802
固定資産合計	23,728,746	23,601,224
資産合計	40,733,497	39,696,479
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,437,423	6,127,834
短期借入金	3,085,000	4,540,000
1年内返済予定の長期借入金	1,200,000	1,330,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	33,305	24,176
賞与引当金	277,066	260,550
その他	4,652,434	3,356,572
流動負債合計	15,745,230	15,699,134
固定負債		
社債	240,000	210,000
長期借入金	3,200,000	3,120,000
退職給付引当金	1,100,100	1,043,749
その他	1,668,162	1,465,835
固定負債合計	6,208,262	5,839,585
負債合計	21,953,493	21,538,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	1,802,000	1,802,000
利益剰余金	14,882,856	14,331,293
自己株式	△293,311	△293,311
株主資本合計	18,581,545	18,029,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,053	69,319
為替換算調整勘定	47,404	58,456
その他の包括利益累計額合計	198,458	127,776
純資産合計	18,780,003	18,157,759
負債純資産合計	40,733,497	39,696,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	19,873,755	20,637,697
売上原価	17,000,284	17,640,062
売上総利益	2,873,471	2,997,634
販売費及び一般管理費	3,418,050	3,417,149
営業損失(△)	△544,578	△419,514
営業外収益		
受取利息	363	288
受取配当金	27,504	12,193
持分法による投資利益	17,694	76,896
その他	41,411	39,597
営業外収益合計	86,973	128,975
営業外費用		
支払利息	41,178	55,689
売上割引	45,373	48,326
その他	14,825	15,732
営業外費用合計	101,377	119,748
経常損失(△)	△558,982	△410,287
特別利益		
固定資産売却益	149	—
貸倒引当金戻入額	1,044	—
特別利益合計	1,194	—
特別損失		
固定資産処分損	240,338	53,466
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	73,903	—
その他	—	2,072
特別損失合計	314,242	55,539
税金等調整前四半期純損失(△)	△872,030	△465,826
法人税、住民税及び事業税	7,450	13,079
法人税等調整額	△302,377	△207,344
法人税等合計	△294,927	△194,264
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△577,102	△271,562
四半期純損失(△)	△577,102	△271,562

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△577,102	△271,562
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△135,706	△81,733
為替換算調整勘定	△15,421	11,051
その他の包括利益合計	△151,128	△70,681
四半期包括利益	△728,231	△342,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△728,231	△342,244
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△872,030	△465,826
減価償却費	1,002,562	1,106,902
売上債権の増減額(△は増加)	1,180,166	733,435
仕入債務の増減額(△は減少)	154,895	△309,589
その他	△225,058	△354,527
小計	1,240,536	710,394
利息及び配当金の受取額	27,867	12,481
利息の支払額	△40,425	△58,717
法人税等の支払額	△26,784	△22,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,201,193	641,665
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,189,236	△2,175,992
無形固定資産の取得による支出	△138,213	△81,771
その他	270	15,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,327,179	△2,242,579
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	970,000	1,455,000
長期借入れによる収入	—	650,000
長期借入金の返済による支出	△410,000	△600,000
社債の償還による支出	—	△30,000
セールアンド割賦バック取引による収入	—	1,000,000
セールアンド割賦バック取引による支出	—	△119,745
配当金の支払額	△314,886	△279,999
その他	△15,767	△19,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,345	2,056,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,387	792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,898,027	456,034
現金及び現金同等物の期首残高	4,256,837	2,158,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,358,809	2,614,500

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリュー ション事業	砕石砕砂事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	13,116,330	5,535,380	312,819	754,096	19,718,627	155,128	—	19,873,755
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	22,532	5,130	27,662	192,262	△219,924	—
計	13,116,330	5,535,380	335,351	759,227	19,746,289	347,391	△219,924	19,873,755
セグメント利益 又は損失(△)	△182,041	242,054	△96,509	12,389	△24,106	3,139	△523,612	△544,578

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マテリアルリサイクル事業および業務請負事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△523,612千円には、セグメント間取引消去3,314千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△526,926千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリュー ション事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	14,123,708	5,379,563	256,092	827,941	20,587,305	50,391	—	20,637,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	17	125,775	2,218	128,011	174,667	△302,678	—
計	14,123,708	5,379,581	381,867	830,159	20,715,317	225,059	△302,678	20,637,697
セグメント利益 又は損失(△)	△178,757	318,807	19,847	20,291	180,189	3,730	△603,435	△419,514

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△603,435千円には、セグメント間取引消去1,100千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△604,535千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度の第4四半期連結会計期間において砕石砕砂事業を進める上武産業株式会社とマテリアルリサイクル事業を進める上武エコ・クリーン株式会社の合併（平成23年3月1日付）に伴い報告セグメントの変更を行っております。変更後の報告セグメントに組替えた前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリューション事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	13,116,330	5,535,380	312,819	857,071	19,821,601	52,154	—	19,873,755
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	22,532	7,903	30,436	189,488	△219,924	—
計	13,116,330	5,535,380	335,351	864,974	19,852,037	241,643	△219,924	19,873,755
セグメント利益 又は損失(△)	△182,041	242,054	△96,509	12,915	△23,580	2,614	△523,612	△544,578

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△523,612千円には、セグメント間取引消去3,314千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△526,926千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(合弁会社の設立)

当社は、豊田通商株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：加留部 淳）、龍大食品集团有限公司（中国の大手食品会社、本社：中国山東省萊陽市、董事長：宮 学斌）と、中国において有機および有機化成肥料を製造販売する合弁会社を設立することについて合意いたしました。

合弁会社の概要は以下のとおりです。

- ・所在地 中国山東省萊陽市団旺鎮
- ・設立時期 2011年12月（予定）
- ・資本金 25百万元（約3億円）
- ・出資比率 豊田通商グループ 37%（内、豊田通商中国 12%）
龍大食品集团有限公司 33%
朝日工業 30%